

## 正副会長会議 報告書

□日時 令和 5 年 12 月 14 日（木） 15：00～16：45  
□会場 さいたま市「すこやかプラザ」3階「団体交流室」

### 1 開 会

2 参加者 正副会長 5 名 牧野常務 吉田局長 眞矢 松尾 大塚

### 3 部会報告

#### (1) 研修部会

⇒民児協だより 2 月号に今年度の研修実施状況について報告予定、12 月中に正副部会長会議・1 月に全体会議を実施し事業計画と相模原について話し合う予定

#### (2) 地区民児協支援部会

⇒全体会議にて 7 課題に関する意見を伺った。7 課題について県との意見交換会を実施したい旨、部会決定した。13 日に社会福祉課を牧野常務理事と松尾主事で訪問、欠員をなくすための 7 課題について意見交換会の実施を依頼した。佐々木社会福祉課長からも、「現場からのアイディアは大切にして、行政や社協も一体になって考えていく必要がある。活動費については国に要望したい。」とのお話もいただいた。また欠員問題に関連して定数についても議論したいとの話も出た。社会福祉課からの希望日として 1 月 19 日午前があがったため、すこやかプラザにて実施予定とした。

#### (3) 広報部会

⇒現時点での評価として、事業計画にあげた内容は概ね実行できた感触を広報部会員全員からいただいた。令和 6 年度についても概ね令和 5 年度と同じ流れで行きたい。主な変更点として、①特集号を 1 年の大きな事業として力を入れたい②県大会 50 回記念と主任児童委員制度創設 30 周年を併せて特集するか否か今後調整していきたい。③Web ページについても現状の修正は令和 6 年 3 月までに行いたい。その他の修正点についても見直し・修正を済ませたい。④広報誌に各市町村・各委員が登場する場面を増やしたい。

#### (4) 主任児童委員部会

⇒1 月 24 日と 31 日に各分科会を実施。分科会 2 はリーダーならびに副部会長の変更がある。来年度の事業計画については 2 月 2 日に正副部会長会議にて協議予定。

#### 4 協議事項

(1) 令和6年度理事会・評議員会について

⇒案について説明した。

藤崎副会長

「開催が可能であれば実施するべきだと思う。」

芦澤会長

「県外研修に理事が全員参加できることを期待する。」

⇒理事会・評議員会については案のとおり開催。

⇒第184回理事会の開催可否に関わらず県外視察研修は実施する。

(2) 令和6年度県外視察研修について

⇒案について説明した。また、協議事項1にて県外視察研修と理事会・評議員会を合わせて開催する旨決定されたため、資料の内容の“目的”などが一部変わる旨報告した。また、参加経費についても理事会・評議員会を開催することから、本会により負担したい旨を提案した。

寺田会長

「福島県いわき市双葉町のお話を伺うのがよろしいかと思うがいかがか。」

磯部副会長

「実際被災した人の話は貴重であるしためになる。まだまだ聞ける話が多いと思う。」

寺田会長

「加須市に東日本大震災の被災者が今でも避難されているため、関係がある」

藤崎副会長

「当時の小学生は現在成人しているが、現在戻りたいという声は少ないと聞いている。まだまだ復興に向けて動いているという点でも行くべきかもしれない。」

志子田副会長

「災害直後だと聞きづらい話もこれだけの月日が流れたことで聞けるかもしれない。双葉町は三郷市と災害協定を結んでいる。(正しくは“双葉町”ではなく“双葉郡広野町”)」

藤崎副会長

「放射能の問題についても、埼玉県も無関係ではない。」

⇒③災害被災地で福島県いわき市として決定。

⇒理事会と評議員会との同時開催のため、主任児童委員部会長の直井理事も含めて参加費は本会負担とする。

⇒現地の民生委員と意見交換もぜひ実施してほしい。

(3) 令和7年度関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会について

⇒案について説明した。

牧野常務理事

「実行委員会案2については作業フローの具体的なイメージが湧くが、案1の進め方はどういう形なのか。」

藤崎副会長

「前回、理事が実行委員会の構成員となっていた気がするが、決定となっていたのかどうか。」

吉田事務局長

「案 1 がそちらを決定する前の資料として作成をしたもので、案 2 は事務局が土台をつくる進め方とした場合の資料としている。」

牧野常務理事

「案 1 の担当というのはそれぞれ実行委員に責任を持って進めてもらう案としていいか。」

藤崎副会長

「案 1 は土台を作ってもらったものを各担当委員が判断するものということか。」

眞矢主任

「そうではなく、土台の作成から実行委員に担当してもらうものである。」

志子田副会長

「限られた時間の中で土台から実行委員が作成するのは難しいのではないか。」

藤崎副会長

「土台の作成については事務局がある程度案を作って、それを実行委員で検討するべきではないか。」

芦澤副会長

「会長・副会長も責任を負うことについては差し支えないので、共有してほしい。」

吉田事務局長

「案 2 は本会理事を構成メンバーとして 4 回開催予定、協議内容については資料のとおりである。第 1～3 回は事前開催、第 4 回は事後開催。」

牧野常務理事

「案 2 の検討事項について、補助金などの協力を仰ぐのであれば構成員については理事だけではなく県や社協など関係機関を入れた方が良い。」

寺田会長

「開催期日 7 月 10～11 日、開催場所は熊谷市であることは既に決定済みということで良いのではないか」

牧野常務理事

「参加者数等について、開催場所や会場について決定しないことには判断できないのではないか。第 2 回以降の判断となるのではないか。来年の関東ブロック時点で開催要綱レベルの決定をしておかないと次年度開催当番県として発表できない。」

藤崎副会長

「新潟市での関東ブロックに参加しているのだから、その時の参加者人数を概算として考えて話を進めないと何も決まらないのではないか。参加者 500 人の宿泊者 250 人を見込み数として取り扱ってはどうか。」

牧野常務理事

「藤崎副会長のお話も踏まえ、第 1 回の実行委員会で話し合うべき事項を既に挙げてほしかった。」

藤崎副会長

「埼玉県から実行委員を選ぶことも含めて1月の開催は可能なのか。」

牧野常務理事

「社会福祉課、社会福祉協議会、共同募金会等5名程度なので可能である。」

藤崎副会長

「開催地の熊谷市にも実行委員会に入ってもらえるべきではないか。」

牧野常務理事

「第1回の実行委員会時点では熊谷市での開催が確定していないため、開催市長として名簿上枠を設けておいて、第2回から入ってもらえるのが良い。第1回の開催で協議すべき事項はなにか。」

吉田事務局長

「開催地および開催日等について決定していただきたい。」

牧野常務理事

「かねてより開催に係る全体スケジュールの提示を依頼しているが、まだ出てきていない。第1回実行委員会では報告してほしい。」

志子田副会長

「収支決算については一斉改選前の今のメンバーで行った方が良い。」

藤崎副会長

「3月のスケジュールも概ね出ているのであれば第2回の開催候補日を今決めても良いのではないか。」

牧野常務理事

「3月の理事会開催後にそのまま実行委員会を開催するので良いのではないか。」

⇒1月22日午後に第1回実行委員会を開催する。

⇒第1回実行委員会では、開催地・開催日の協議、全体スケジュールの報告、第2回実行委員会（3月理事会終了後予定）の開催日の決定を行う。

⇒収支決算については令和7年11月に実施する。

(4) 令和6年度社会福祉関係者新年賀詞交歓会について

⇒案について説明した。また従来は費用負担については、会長のみ負担し、常務理事についてはスタッフとして参加していただいていた。事務局からも2名ほど出席していた。

藤崎副会長

「主催団体に県民児協が入っているのに驚いた。」

牧野常務理事

「社会福祉協議会からは共催として依頼が出ているが、主催となってしまっている。主催であるならば開催についての案内は山口会長とともに連名で会長名があるべき」

芦澤副会長

「開催日の通知が遅かったため、小学校との事前の約束がある。参加が難しいため欠席の旨通知してしまっている。」

藤崎副会長

「内容はどんなものなのか、出席すべきものなのか。」

吉田事務局長

「テーブルごとに分かれての立食であり、交流会のような形式である。」

牧野常務理事

「参加費負担についてはこの場で決めるべきと感じる。」

寺田会長

「組織ごとにテーブルが決まっているから、民児協からの出席が少ないのは問題があるように感じる。」

吉田事務局長

「事務局案としては正副会長と常務理事のみ負担をしたい。」

寺田会長

「経費負担については、市町村民児協に負担をお願いするのはどうか。また出られるのであれば出ていただきたい。」

牧野常務理事

「テーブルについては確認してもらいたい、県民児協のテーブルには保護司との相席は避けてもらうよう手続きしてほしい。」

藤崎副会長

「市町村に対して、出ることも出ないことも強制することもできない。市町村会長が出るべきか否かについては通知すべきではないか。」

志子田副会長

「参加と回答している市町村は変更が難しいから、出るか出ないかについては言及できない。」

牧野常務理事

「主催共催の扱いについては正してもらうよう申し入れしてほしい。また開催日の通知についても、もっと早めをお願いしたい。」

藤崎副会長

「複数枚出席依頼が来ているがどういった提出はどうすればよいか。」

牧野常務理事

「県民児協の副会長として出席回答していただきたい。」

志子田副会長

「欠席で回答している場合はどうしたらよいか。」

吉田事務局長

「正副会長の分については事務局で取りまとめて回答・修正いたします。」

⇒市町村会長参加分の負担について市町村民児協に事務局長名で依頼。

⇒正副会長・常務理事の参加費は本会が負担する。

⇒文書の宛て名、主催区分、通知を早めることについて県社協に申し入れ。

## 5 報告事項

### (1) 次回開催および今後の予定について

日時：令和5年1月18日（木）13：30～

場所：彩の国すこやかプラザ3階 団体交流室1・2

### (2) 川越市民生委員を語る不審者の訪問について

⇒県民児協として各市町村に向けて川越市の文書を参考添付し、注意喚起と

して文書を送付。

## 6 閉 会